

令和元年 己亥		令和二年 庚子	
七月 (文月)	九、十日 四万六千日 <small>(ほおずき市)</small>	一月 (睦月)	初 詣
八月 (葉月)	十五日 万靈燈籠供養会	二月 (如月)	淺草名所七福神もうで
九月 (長月)	三十一日 淺草サンバカーニバル	三月 (弥生)	淺草觀音示現会・金龍の舞
十月 (神無月)	三 日 台東薪能	十八日	ハ日 <small>ハ日</small> 駿尊誕生日(花まつり) 白鷺の舞
十一月 (霜月)	十八日 菊供養	四月 (卯月)	ハ日 <small>ハ日</small> 淺草流鏑馬
十二月 (師走)	三 日 白鷺の舞 十五日 酉の市 七 五 三	五月 (皐月)	中旬 <small>中旬</small> 早慶レガッタ
十七・十九日 歳の市(羽子板市)	十五・十七日 三社	五月 十五・十七日 三社	宝の舞
三十一日 除夜の鐘(弁天山)	三十・三十一日 お富士様の植木市	祭	お富士様の植木市
お富士様の植木市	二十七・二十八日		

● 浅草・槐の会 お客様おもてなしマガジン



The Door Step to Japan

vol.43

2019年 秋冬号

浅草を彩る9月~2月の代表的催事

9月

彼岸会

●9月23日

お彼岸は、気候もよく太陽が真西に沈むこの時期を修行にあて、太陽の恵みに感謝し五穀豊穣を願う祈りに端を発しています。浅草寺では、五重塔に靈牌を安置しているご信徒に拜殿を開放し、自由に参拝していただいている。

10月

神無月

金龍の舞

●10月18日

浅草寺の正しい名称は「金龍山浅草寺」といいます。金龍山の山号は、浅草観音承応縁起に書かれている「十八日、寺辺に一夜にして松千株ほど生ず、三日を過ぎて天より長さ百寸ばかりの金鱗の龍、松の中に下りし」に由来しています。この故事を踏まえて創作された舞が「金龍の舞」です。毎年3月と10月の18日に、いなせ半纏、はらがけ、もも引きの江戸っ子姿の浅草寺舞保存会メンバー9名の手によって勇壮に演じられています。



10月 浅草菊花展

長月

白鷺の舞

11月

●11月3日

今でも浅草は江戸の名残を最も色濃く残す町、東京の代表的下町として全世界の人々の人気を博しています。平成元年11月3日から始められた「東京時代祭り」は、東京の歴史と文化の原点は浅草であるという観点から、江戸・東京の歴史絵巻の行列が浅草の町を行進します。さまざまな時代絵巻は、多くの観客を集めます。この時代絵巻の一つに白鷺の舞があります。白鷺の舞は古い時代の祭礼行列の中にある「鶯舞」の姿を浅草観光連盟が復興したものです。

西の市

●11月8・20日

西の市は、秋の収穫期に神社に鶏を奉納した「とりまつり」に由来し、神社から農家に授ける熊手が「とりこむ」ということで縁起が良く、商売繁昌を願う催しななりました。西の市で有名なのが浅草・千束にある鶯（おおとり）神社。その愛称である「おとりさん」がいつしか西の市のことを指すようになりました。西の市は11月の西の日に開かれます。三の酉まである年は火事が多いという俗説があります。火の用心にはお気をつけ下さい。



11月 白鷺の舞

霜月

12月

納めの観音、歳の市《羽子板市》

●12月17~19日

毎年観音様の御縁日である18日の前後を含めた17、18、19日の3日間行われており、もとは正月の飾り物などを中心とした市でした。今でも観音北側の広場では、しめ飾りなどの卸売りをするお店も立ち並び通常“ガサ市”と呼ばれ、これを小売りする人達が仕入れに来ています。江戸末期より“生まれた子が邪気をはねのけ健やかに育つ市に通じる”との謂れから女児の出産には必ず羽子板を贈る風習が始まり、今では“羽子板市”と呼ばれるようになりました。



師走

1月

浅草観音初詣

●1月1日

除夜の鐘と浅草寺開扉とともに始まる初詣。正月期間中、表参道である仲見世をはじめ境内は華やいだ人々で埋まります。

2月

節分会

●2月3日

節分とは一年の春夏秋冬を分ける言葉で本来年に4回あるはずですが、現在では立春の前のみをさしています。浅草寺では1時と2時の2回にわたり、信徒の有志が年男となり本堂東側回廊の舞台で、また西側影向堂の舞台では観光連盟主催による豆撒きが古式追儀式の終了後2時半~6時までの間5回に分けて行われています。



1月 浅草観音初詣



1月 江戸消防記念会・はしご乗り



2月 節分会

9月~2月 その他の催事

- ◆七五三加持会 11月15日
- ◆除夜の鐘 12月31日
- ◆浅草名所七福神詣り 1月1日~
- ◆江戸消防記念会・はしご乗り 1月6日
- ◆待乳山聖天・大根祭り 1月7日
- ◆針供養 2月8日

第七回

「浅草寺境内
四方山話前編」

浅草寺子屋

講師
荒井修

この記事は2010年に文化・芸術・観光のまちづくり協会が主催した「浅草寺子屋」の内容を再現したものです。講師を務めたのは我が槐の会のメンバーであった荒井修氏。浅草の老舗舞扇店「荒井文扇堂」の四代目店主です。この講演の6年後、2016年2月22日に逝去されました。浅草や江戸の文化に精通し、浅草の町興しのオピニオンリーダーでもあった氏の知見を後世に伝えていくために、小誌ではこの記事を企画しました。

納めの観音の日に
浅草寺境内のお話を…

えー、どうも。今日は浅草寺の話をするわけなんですけど、浅草のいろんな連中に「よりによって納めの観音（観音様のご縁日である18日のうち、1年最後の12月18日のこと）の時に寺子屋やんないで下さいよ、行けないじゃないですか」って、すいぶん怒られました。そんなわけで今日は境内が大変賑わっております。

浅草寺境内の納めの観音は羽子板市って言いますけど、本来は「歳の市」、正月の準備をするための市だったんですね。「観音の市でお宮を振り回し」なんて川柳が残っていて、大神様だとか荒神様だとかのお宮（神棚）を売ってたんですね。他には重箱だとか、お屠蘇のセットなんかがずいぶん境内で売つてまして、南天だとかね。でも次第にそういうものはデパートで買えるようになっちゃって、最後に残ったのが羽子板ということで。羽子板はお子さんを育てるのに非常に縁起がいいと言われてね。羽根の実の黒いところ、むくろじ（無患子）といいまして、子供が病

にかかるないと書くんますな。

歴史上、浅草寺の境内が本当に賑わってるのは1700年頃になりますね。ご承知のとおり幕府は1603年に開府したわけですから、約100年くらい経った頃です。今日皆さんにお配りした境内図はもっと後の1798年、寛政10年の図と言われています（図2）。

運営費を稼ぐために
境内を貸し出し

前に浅草寺の歴史の時にお話しましたけど、浅草寺は江戸時代、上野寛永寺の配下になつて。お賽錢を毎月2回、寛永寺が取りに来るんですね。特に市があつたりすると月に5回も来て、ほとんどのお金を持ってかれちゃう。当時、浅草寺が幕府からいただいているお金が約500石。低いクラスの旗本と同じだと思ってください。上野寛永寺は、っていうと、1万1千石ですから、かなり差があるわけですね。その上じょっ中、お賽錢を持っていかれてしまう。するとお寺はやっていくのが大変になる。どうするかというと、境内地を人に貸して家賃を発生させるしかならなくなるわけです。一番みなさんがご存知のところ

で言うと「梅園」さんもね、浅草寺別院の梅園の境内に茶店風のものを建てて売ったのが最初ですから。それから仲見世なんていふのは、境内の掃除をしてくれたら商売をしていいよなんて言われたんですけれど、これも家賃が支払われるようになります。境内にいろんなお店が出来て、時代で一番新しいものや珍しいものを置いてあるということになると、だんだんと人が集まるようになります。

それと浅草寺の裏手には広く空いている場所があるわけですから、いろんな神仏が勧請されるんです。そうすると浅草寺境内が神仏のデパートみたいになる。お配りした境内図を見ると、大変な数の神社、仏閣がそこに書いてあります。そういうところにはどうしても人が集まるわけです。

参詣客が一番多かったのは
盜難除けの熊谷稻荷

例えば境内図を見ると、南に仁王門があります。東には隨身門というのがありますけれど、これは今の二天門です。昔はこれを通つ

て本堂前を横切って、今の淡島様の辺りに浅草東照宮というね、徳川家康を祀ったものがあったんですけども。そこに向かうための門が隨身門だったんですね。この東照宮が2回ばかり火事になりましたね、その不始末を理由に3回目は東照宮を建てちゃいけないって幕府から言われましたね。門だけ残っているのもアレなんで、二天門と名前を変えて、浅草寺の東側の門ということになったわけです。

三社様のすぐ左側には十社権現というのがありますけど、浅草寺の歴史をしゃべった時に「十童子」というのが出てきましたね。今のびんざら舞のご先祖です。この十童子を祀っているのが十社権現であります。それからその隣に念仏堂というのがありますけど、十夜法要とかいいまして、一日中念仏が聞こえるようなところであります。

それからその上に、熊谷稻荷というのがあります。先日一緒に伝法院を見学に行つた方いらっしゃいますかね？ 伝法院で見た石棺も熊谷稻荷から出たと言いましたね。これは古墳時代の石棺で、長さ2.5m、幅1.2m、

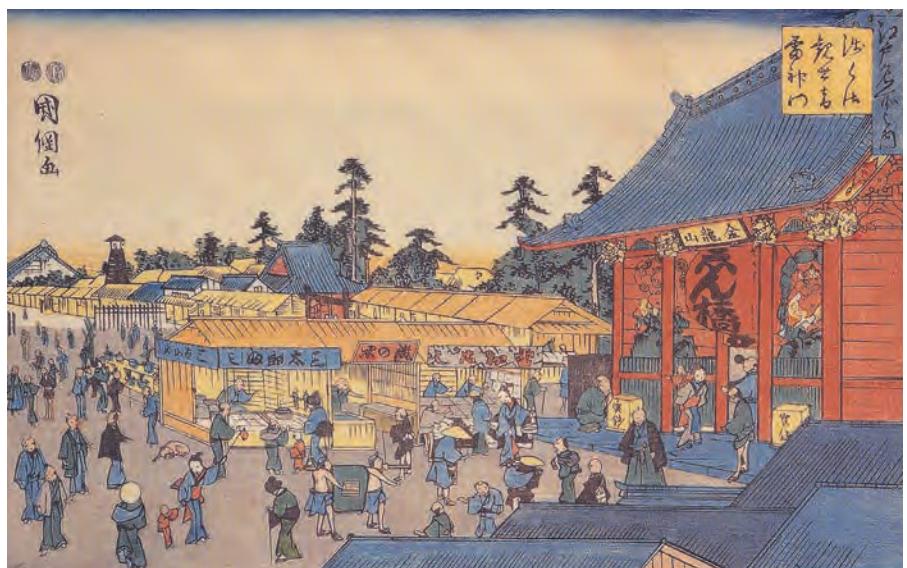


図1：歌川国綱「江戸名所之内・浅くさ観世音雷神門」。嘉永年間(1848~54)の門前の様子がわかる



図2：浅草寺境内図。1798(寛政10)年

高さ75cm。熊谷稻荷があつた辺りに塚がありましてね、そこから出土したものです。古墳時代のものが早くも境内の裏手にあったことがわかるわけです。熊谷安左衛門という人が勧請したお稻荷さんで、今はこの人の菩提寺の本法寺の中にありますけどね。狛獅の間に狐がかかっているのを見かけてね、その日は自分の母さんの命日だっていうことで助けたんですね。するとその狐一族がですな。狐に一族があったのかよくわかりませんけども、何とか恩に報いたいということで、盗難除けの呪文を授けたわけです。そこで熊谷安左衛門がその呪文のお札を販売する…と言っちゃいけないのかな、下げる。ちょっと最近は泥棒が多いよ、ということになると、熊谷稻荷にお参りする。信者がものすごく多くてね、参詣者の数でいうと、摂寺境内の中でも群を抜いて多かったといわれております。

またまた脱線 宝船と初夢の話



よく宝船という縁起のいい絵がありますけ

ども、1月2日の夜に枕の下に敷いて寝ると、いい夢が見られるよという。「宝船」っていうのは、幸福がこっちに乗り込んでくるとのと、悪いことを波の彼方に運んでくれるのと、両方あるんですよ、入船と出船。絵では大抵入船になっていますけどね。

あの、初夢というと、よく一富士二鷹三なすびと言いますけど、四番目が扇子です、四扇（しせん）。五煙草、五番目は煙草です。六番目は座頭、目の見えない按摩さんですね。座頭市のあの座頭です。調べても六番目までしか出てきません。一富士というのは「無事」ということです。富士山の富士じゃなくて無事。二鷹の鷹は「高み」に上る。三なすびは夢とか事を「為す」のなすですね。四扇の扇子は「未広がり」。五煙草というのは「上昇機運」ということです。六座頭というのはまあしゃれでしょうけど、頭をみんな坊主にしているっていうんで、「お怪我（毛が）」なくっておめでたいということだそうです。だからよそへ行って、初夢は「一富士二鷹三なすびだよね」って言ってたら「四扇五煙草六座頭だよ」って言うと、ものを知ってるなってことになりますから、何かの時には使ってください。

風邪を引いたら 玄関先に「久松留守」



地図の右上方には秋葉様というのがあります。秋葉の火祭りなんていうのがあって、火を司る神様です。火の幸と恵み。悪い火は鎮める、いいことは炎のように燃え上がらせる。だから今年は火事が多いよ、なんていうと秋葉様に行かなければならぬ。

四社（ししゃ）というのもあります。四社神社といいますけど、天照大神と春日大神、八幡様、それから熊野の神のことを指します。護摩堂というのもあります。これは護摩を焚くのだからお不動様。古くから不動明王というのはいろんな形で崇め奉られています。勧進帳というお芝居の中でも、「不動の見得」

なんてのがありますけど（偽の勧進帳を読み上げた弁慶が不動明王のポーズで見得を切る）。大体江戸っ子が喜ぶのが成田屋の「不動の見得」でね、今話題の成田屋ですよ（同年11月に11代目市川海老蔵が暴行を受けるトラブルがあった）。成田山新勝寺をお参りするわけですけども。

その下が薬師堂。薬師様っていうのは名前を見てもわかるように病気にならない、まあ薬ですから。だから「風邪引いてるよ」なんていうと「代わりに薬師様にお参りに行って来てやるよ」なんていう会話がね。あと、昔の江戸っ子が風邪を引くと玄関先によく「久松留守」って書いて貼るんです。「お染久松」の久松ですよ。この頃大変流行った芝居です。今でも風邪が「流行る」っていいますけど、当時一番流行ったものの名前を付けるんです。相撲の谷風が強かった時には「谷風邪」といたりね。その頃に流行ったのが「お染風邪」だったんで、お染さんが会いに来ても、「久松留守」って書いておくと諦めて帰ってくれるだろうということで。あたしも今年の春先ですか、風邪を引きまして。いくらやっても治らない。しゃれに書いて玄関のところに貼ってみたら、翌日に治りましたね。そういうこともあるんです。

鷲神社の酉の市で 12年に一度授与するもの



大神様はお伊勢様。神藏（しんぞう）はお宝が入っているだけです。閻魔堂は閻魔様。江戸市中にも祀っているところはいっぱいあるんですけどね。それから熊野社。熊野三山をご祭神にした自然信仰ですね。左下にもう一つ薬師堂というのがあるんですけど、病気を治すのと現世利益。あの世に行ってからだともう手遅れだ、という考え方ですね。山王様がその下にありますね。比叡山山王権現、大津にあります。そこから生まれた神道ですね。大山咋神と天台宗の延暦寺の守護神である大国主命、それから猿が神の使いになって

いるという。だから申年の時はお参りの人がすごいですよ。

他にすごいのはお酉様の12年にいっぺんの酉の市。この時だけはね、早く行きます。これあたし、あんまり言いたくないです。なぜかといいますと、あそこの鷲神社のね、大きなぼりがありますでしょ？ あれを12年にいっぺん染め直すんです。12年間使ったヤツを、「ヤツ」って言っちゃいけねえな、幟を切って、これくらいのお札がもらえるんです。これはもう、幟旗2枚分だけしかありませんから、早く行かないとももらえない。今ここでしゃべると競争相手が増えるんで。

あなたの「初詣」は
初詣じゃないかも…



よくみんな初詣なんてことを言いますけど、大変違っている。初日の出が上ってから行くのが初詣。紅白歌合戦が終わってからすぐというのは「除夜詣」というヤツでね、自分の近所の神社にお参りに行けばいいんです。ええと、今なぜ神社に限ったかというと、仏閣の場合は非常に縁起を担ぎますから、お墓がついている寺には七草まではお参りに行かないんです。浅草寺みたいなお墓が無いところはいいんですけど。だから神社とあえて言ったわけですけどね。それもよそ行きなんか着ないで、普段着のまま近所の神社にお参りするのが除夜詣です。初代吉衛門の俳句に「女房も同じ氏子や除夜詣」という句が残っていますけど、気楽に行くものなんです。そ



図3：独楽回しをする松井源水。その前では男たちが歯磨き粉などを薦めている



図5：昇齋一景
「東京名所四十八
景・浅草寺境内弁
天山」。1871(明治
4)年の作

れがいつからですかね？ 紅白歌合戦が終わると同時にどっと来ますね、列を作ってる。そして元日のお日様が出た直後の境内に行ってみるとけっこう空いていましてね。

初詣の時には流行り神というのである。火事が流行っていれば秋葉様へ行こう、風邪が流行っていればお薬師様へ行こうとか、今年の干支はこれだから、なんて言って行くものもあるんです。恵方参りっていうのは、こっちの方角がいいよって言うと、そこに向かっていって最初に出くわした大きなお寺、あるいは神社にお参りするんです。そういうことで浅草寺の境内っていうのは神社仏閣の大どころがほとんど揃っちゃってる。大変人が集まるわけですね。

境内に店がたくさん 独楽を回して歯磨き売り

でも、それだけではないんです。その参詣客のために、というか、参詣客を当て込んで、茶屋とか楊枝店。楊枝っていうのは草楊枝。歯を磨くへらのようなもので、これがたくさん並んでたっていうんですね。あの、記録で1798年、浅草寺境内図という寛政10年に出来た絵図なんですけど、これで見ると茶屋が109軒、それから菜飯、菜っ葉と一緒に炊き込んだご飯ですな。菜飯茶屋というのが4軒。団子茶屋が4軒。甘酒茶屋が1軒。それに対して楊枝店が93軒あるんですよ。それから楊弓。「ようきゅう」たって何か頼む要求じゃなくて、矢場みたいなものですな。当たるとゴトン、「当た~り～」っていうやつで

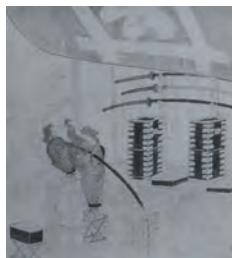


図4：折り畳み式の台
の上で居合抜きをする
長井兵助

す。あれが12軒、小間物店が7軒。飴屋が3軒、絵草子店が3軒。花を売ってた花店というのが3軒。煙草入れ屋が1軒。楊枝屋さんは別に歯磨き屋さんが1軒。

これが有名な松井源水独楽回し（図3）。この人、独楽を回していろんなことをやって見せるんです。日本刀の刃に沿って独楽を回す刃渡りっていう芸をしたりするんですけど。芸人じゃなくて、本業は歯磨き屋なんです。独楽をやって見せながら歯磨きを売るという、そういう人なんです。代々この名を名乗っていて、17代目まで続いたそうですよ。

板を持っていて、板の四隅と真ん中とに5つ独楽を置くんます。「五つ道成寺祈りの独楽」なんてことをいいますね。独楽を五つ持っておいて、ご希望に沿ってコマを回そうっていうことなんです。右上が白雲坊、右下が西念坊、左上が黒雲坊、左下が權念坊、真ん中をうんづく坊っていうんですけど。「真ん中を回せ」って言われて、板を動かすと四隅のコマは動かないで、真ん中だけ回るんです。すごいisho？

で、江戸中の評判であります。八代将軍吉宗が時々千住に鷹狩りに行くんです。その帰りに時々奥山に寄って松井源水のコマ回しを見たりなんかすることもあるわけですね。扇子の地紙止めなんていうのもある。まずこう扇子を立てた上でコマを回すんですね。そして徐々に扇子を広げていくんです。両方から広げていって、最後に真ん中で回っているんです。すごいisho？ あたしはタネは知ってるけど言えないんです（笑）。護摩堂の前というか、薬師堂の横というか。その辺りが松井源水がいつもやっていたところです。実際の地図だと護摩堂がもう少し右で、薬師堂と大神宮がもう少し左で、その境でやっていたんですね。大体わかります？

お手玉に居合抜き 大道芸がいろいろと

それからですね、地図の上に楊弓場があり

ます。この左右が大変な桜の名所なんです。千本桜という。この間のところで芥子之助という人が芸をやっているんです。非常に体の小さい人で、人がいっぱい集まると後ろの人見えなくなってしまう。かなり高い下駄を履いて遠くの人からも見えるようにする。豆ととっくりでお手玉をやるんですけど。これ、大変ですよ。豆ととっくりじゃ重さが違うんで、落ちてくる速さが違うんです。それから鎌を投げて飛んだ豆を切り落とすとかね。

長井兵助、居合抜きなんでもありますな。このおじさんです（図4）。この長い刀をね、抜くんます。この人も高いところに上っていますね。安定しないようなところで居合抜きをするのはまた大変なことでしょう。その他に南京操りだととか、のぞきからくりであるとか、この辺は芸ですね。

これに対して、地図で見ると前にも薬師堂があります。番所があります。額堂っていうのは絵馬などがあるところです。輪蔵というのはお経を入れる建物の一種であります、たいてい八角形をしています。ぐるぐるぐるっと1回まわると、仏典をいっぺん読んだのと同じご利益があるといわれています。関東一円で有名なのは、うどん有名な水沢観音がありますけどもね。この輪蔵、あたしも何度も回したことありますけどね、ありがたみがあって、また楽しいもんもあります。

その下に五重塔があります。今の五重塔と位置が逆になっています。今は本堂に向かって左側にありますけど、当時は右側にあった。今でも昔の旧五重塔の跡に、塔跡という碑がありますので、一度ぐらんになっていただくといいと思います。じゃあなんでこっちに移したんだってお寺に聞いたら、「うん、建蔽率の問題」って言ってましたけど。

左の方、神馬というのがあります。古くは武士の戦勝祈願のために、神馬を奉納するんです。昔は本物の馬だったのが後に絵の馬になって、絵馬という言い方になるんですけどね。お寺で何か儀式があって馬が必要な

時に、すぐにここから運び出すということにもなっています。大体建物関係はこんなところですね。

除夜の鐘を撞く回数 本当は108回じゃない！



それからどうしようか。右下のところには、地図にはありませんけど、今も弁天山の鐘というのがあります（図5）。その弁天山の鐘、時の鐘といいまして。一番江戸城に近いのは辻源七という人が日本橋の石町のところでやっていまして、聞こえる範囲からは全部鐘代をもらうんですね。「うちの方は聞こえないよ」なんて言っても「そうはいきませんよ、たいがいの人は聞こえますよ」なんて言われたりしてね。

よく六つ時といえば、鐘が6回鳴っているとね。除夜の鐘は108つ鳴ってるんだってみんな思ってる。そこが間違いですな。除夜の鐘は111撞いています。六つ時ってのは9つ突いてます。なぜかっていうと捨て鐘というのがありますね。まず鐘に気付かせるために先に3つ撞くんです。3つ撞いているうちに、みんな聞くようになります。その3つ捨て鐘を撞くというのが今の時代に残っているのが時報です。時報の時に「チッチッチ、ボーン」というでしょ？ あの「チッチッチ」は捨て鐘だと思ってください。外国では捨て鐘はありませんから。外国は音楽が鳴つてから時報とかね、何にも言わずにいきなり時報という国もあるんです。

（次号に続く）

ウチのイチオシ!

常盤堂雷おこし本舗

洋風雷おこし「チュララMix袋」



お店の紹介は P.25

地図 P.14-B1

住 台東区浅草1-3-2 営 9:00~21:00

電 03-3841-5656 休 年中無休
[https://tokiwado.tokyo/](http://tokiwado.tokyo/)



浅草土産の定番として約200年愛され続けている雷おこし。昔は長くて硬いイメージがありました。現社長がソフト化、一口サイズ化を推進。中でも人気なのがキャラメルアーモンド味と練乳入りのミルクピーナッツ味のMix袋。「軽くてサクッとした食感が幅広い世代に好評で、コーヒー、紅茶にもよく合います」と専務取締役の穂刈雷太さん。メープルココナッツ味を加えた贈答用缶タイプもあります。「雷門本店では定番から洋風、季節ものまで試食を出してしています。ぜひ味わってみてください。」

文扇堂（雷門店）

渋扇二段張り



お店の紹介は P.25

地図 P.14-B1

住 台東区浅草1-20-2 営 10:30~18:00

電 03-3841-0088 休 毎月20日過ぎの月曜日
<http://asakusa.gr.jp/jp/?p=658>

神谷バー

工場直送の生ビール
(1F 神谷バーにて提供)



お店の紹介は P.18

地図 P.14-C1

住 台東区浅草1-1-1

営 11:30~22:00 (L.O.21:30)

電 03-3841-5400

休 火曜日
<http://www.kamiya-bar.com/>



神谷バーのイチオシは意外にも生ビール。「当店の名物デンキプランのチェイサーとして生ビールを召し上がるお客様も多数いらっしゃいますよ」と神谷直彌さん。店には250ℓと500ℓのタンクがあり、アサヒビールの工場から直接移し替えてお客様に提供。タンクから注ぎ口までの間も循環水で冷やしているこだわりよう。写真のタンク大迫力ですね。「大切な仲間と、あるいはお一人様でも、気軽に召し上がっていただけます。秋から冬も、暖かい客室で冷たい生ビールのど越しをお楽しみ下さい。」

中清

雷神揚げ



お店の紹介は P.21

地図 P.16-C2

住 台東区浅草1-39-13 営 平日11:30~14:00, 17:00~22:00 土日祝11:30~20:00

電 03-3841-4015 休 火、第2・第4水
<http://www.nakasei.biz/>



浅草寺境内石碑ガイド 浅草寺境内の主だった句碑・顕彰碑

1 川口松太郎の句碑

「生きるということは、むずかしく、夜寒かな」と刻む。

2 久保田万太郎の句碑

「竹馬やいろはにほへとちりぢりに」と刻む。

3 市川猿翁の句碑

「まだ身にそはず衣がえ」という
三代目市川猿之助の句を刻む。

4 河竹黙阿弥頭彰碑

歌舞伎狂言作者河竹黙阿弥を顕彰して、
台東区が建立した。

5 中村吉右衛門の句碑

「女房も同じ氏子や除夜詣」と刻む。

6 並木五瓶の句碑

「月花のたわみころや雪の竹」と刻む。

7 山東京伝机塚の碑

江戸時代後期の戯作者・山東京伝の愛用した
文机が埋められた土に建てられたとされる碑。

8 釘供養碑

9 団十郎「暫」の像

九代目市川團十郎の歌舞伎十八番
「暫」の像。

10 映画弁士塚

無声映画時代の名弁士たちを
記念して建立。

11 半七塚の碑

捕り物小説の生みの親である
岡本綺堂を記念して建立。

12 三匠の句碑

宗因・芭蕉・其角という三人の佳句を刻む。

13 正岡子規句碑

「観音で雨に逢いけり花盛」と刻む。

14 芭蕉像と句碑

「くわんをんのいらか見やりつ花の雲」の句を
上部に、下部に松尾芭蕉の座像を刻む。

15 旧五重塔跡碑

16 浅草寺の神木・いちょう

源頼朝公が浅草寺参拝の折、
挿した枝から発芽したと伝わる。昭和20年の
東京大空襲で多くを焼失したものの、
戦災をくぐり抜けた神木として大切にされている。

17 夫婦狛犬

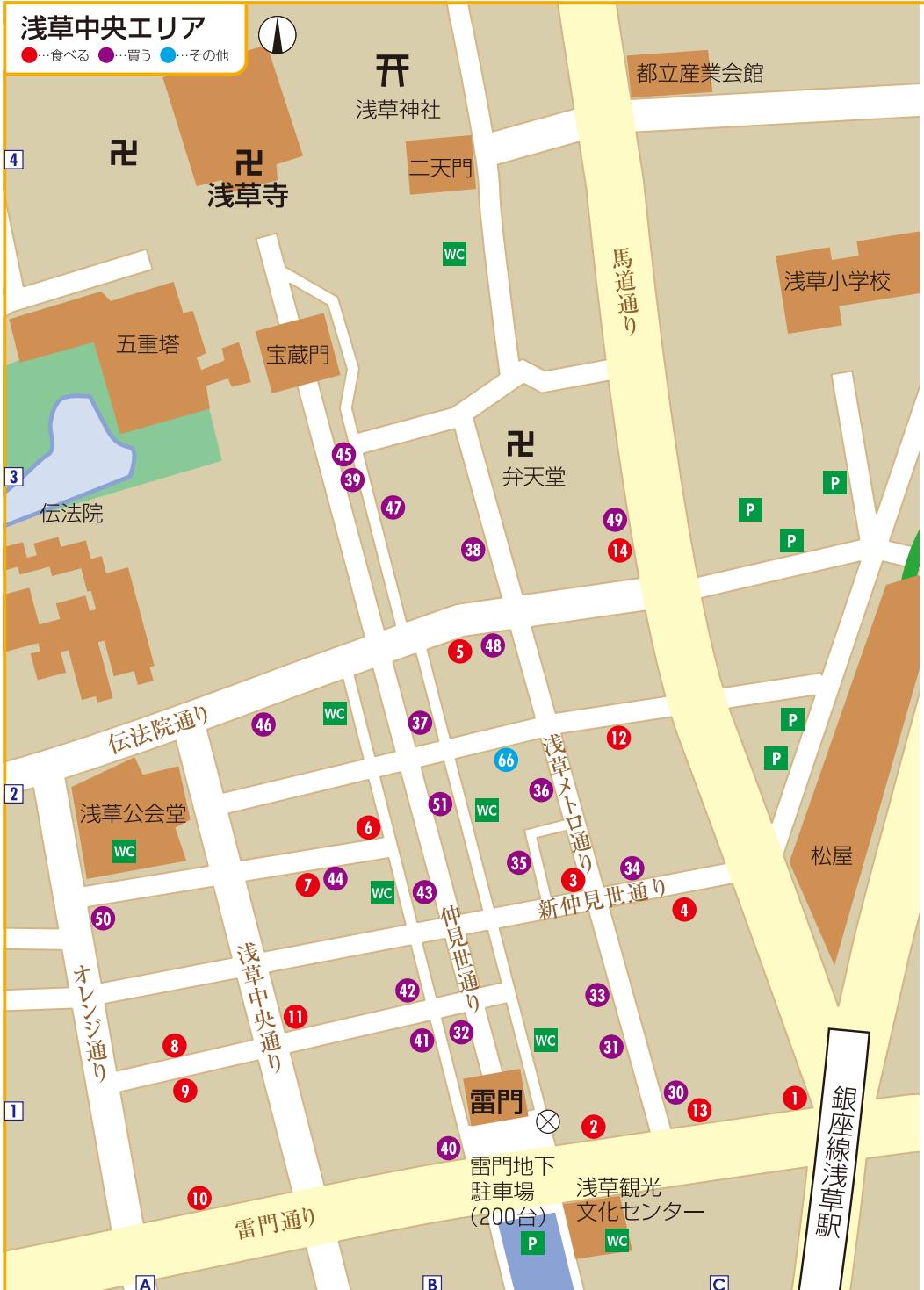
二体並び寄り添う一対の狛犬。
「良縁」「恋愛成就」「夫婦和合」の願いを込めて
祀っている。

18 三柱の石碑

浅草寺社に祀られている三神・檜前浜成・竹成、
土師中知の名が刻まれている。

19 神木・槐の木

浅草寺御本尊の聖觀世音菩薩が
檜前浜成・竹成兄弟に継承された際、
安置されたのが槐の木の切株。
以来、絶えることなく自生する縁の深い木である。



中央部会員店

- 1 神谷バー
- 2 雷門 三定
- 3 浅草うまいもん あづま
- 4 かと里
- 5 名代らーめん 与ろゐ屋
- 6 釜めし 麻鳥
- 7 炭火会席 蔵
- 8 お好み焼き 一丁目
- 9 和風居酒屋 魚菜
- 10 天ぷら 葵丸進
- 11 三角
- 12 鉢の木
- 13 尾張屋
- 14 弁天山 美家古寿司
- 15 手焼きせんべい 和泉屋本店
- 16 手焼きせんべい 和泉屋觀音通り店
- 17 浅草きびだんご あづま
- 18 諸国名産珍味 熊野屋
- 19 おもちゃのサワダ
- 20 ダンス・舞台衣装 東京モード
- 21 組紐 桐生堂
- 22 手焼きせんべい 和泉屋仲見世店
- 23 てぬぐい ふじ屋
- 24 あげまんじゅう 浅草九重
- 25 常盤堂雷おこし本舗
- 26 刃物 かね惣
- 27 舞扇 文扇堂雷門店
- 28 舞扇 文扇堂仲見世店
- 29 ミドリ屋
- 30 木村家本店
- 31 よのや櫛舗
- 32 よ兵衛
- 33 和装履物 浅草辻屋本店
- 34 浅草の保健室ネオ
- 35 江戸金銀工芸もり銀
- 36 村石電気工事

浅草北部エリア



北部会員店

- 15 和風れすとらん若
- 16 レストランにいど・だもあれ
- 17 料亭 都鳥
- 18 すし処 清司
- 19 祭礼用具 宮本卯之助商店本店
- 20 株式会社製菓川喜多

浅草富士浅間神社



待乳山聖天



毎年7月1日の富士の山開きで有名な浅間神社(せんげんじんじゃ)は、地元の人から「お富士さん」の愛称で親しまれている。江戸時代に各地に広がった富士浅間神社の信仰だが、浅草富士浅間神社は静岡県富士市から元禄年間に分社したもの。本殿外観は平成9年から10年の改修工事によって漆喰塗りが施されているが、内部には明治11年に建築された土蔵造りが残されている。毎年5月最終土日と6月最終土日に植木市が開かれ、浅草の年中行事として賑わいを見せる。

山谷堀



山谷堀はかつての吉原への道筋の一つ。柳橋で猪牙船を仕立てたお大尻は、隅田川を上って今戸橋から山谷堀を抜けて吉原へ通つた。現在、堀は埋め立てられたが、堀端の桜は当時の名残を残し、今日も桜の名所として知られている。

昔は待乳山の手前に隅田川が流れ、東都隨一を誇る眺望の名所として知られた。現在はその眺めは見られないが、江戸末期に作られた長さ25メートルに及ぶ築地堀などが往時をしのばせる。



西部会員店

- 13 尾張屋
- 19 常寿司
- 20 天麩羅 中清
- 21 Bistro Kinukawa
- 22 居酒屋 TAKEYA
- 23 すき焼 浅草今半
- 24 どぜう飯田屋
- 53 デイジー
- 54 渡辺眼鏡商店
- 55 演劇・舞踊小道具 すずや
- 56 足袋・祭用品 めうがや
- 57 祭礼用具 宮本卯之助商店西浅草店
- 58 ヤマダの家具
- 59 今昔きもの龍巳(胡蝶)
- 60 まつもと履物店
- 67 浅草ビューホテル

江戸下町伝統工芸館



ひさご通り内にある洒落たたずまいの江戸下町伝統工芸館は、台東区の手仕事に生きる職人さんの技術・技法を紹介する文化施設。実演のスケジュールは、ホームページをご覧下さい。

<http://www.city.taito.lg.jp/index/kurashi/shigoto/jibasangyo/kogeikan/index.html>

久保田万太郎生誕の地



久保田万太郎は、明治22年11月7日にこの地に生まれ、大正3年慶應義塾大学文科を卒業するまでの26年間住む。昭和38年5月6日に永眠するまで、明治・大正・昭和の三代に亘り、下町の義理と人情を描写した小説・戯曲等を発表し、文学・演劇界に多大な功績を残した。



南部会員店

- 25 シーフードレストラン 月見草
- 26 ロシア料理 マノス
- 27 うなぎ 初小川
- 28 茶寮 一松
- 29 三代目魚熊
- 61 和菓子 龍昇亭 西むら
- 62 市川とうふ店
- 63 木彫 宗舟
- 64 書道用品 宝研堂
- 65 ゴルフ グリーンジャケット

駒形堂



駒形堂(こまんどう)は、浅草寺のご本尊が隅田川から示現され、上陸された地に建てられたお堂で、浅草寺の発祥の地ともいえる。現在は、ご本尊として馬頭観音が祀られている。

岡崎屋勘六(勘亭流元祖)の墓



西浅草一丁目にある清光寺の境内に、勘亭流の元祖といわれる岡崎屋勘六(文化2年2月3日に59歳で没)の墓がある。

はなし塚

田原町駅近くの本法寺境内にある落語ゆかりの珍しい石碑。大戦中に各種芸能団体が演題を自殺した際、落語界でも演題の花柳界・酒・妾などに関する落語53種を禁演落語とした。はなし塚は、中に含まれた名作と先輩の靈を弔うために建立され、この塚の下には禁演落語の台本が納められた。戦後の昭和21年9月には、塚の前で禁演落語復活祭が行われた。

浅草槐の会・会員店紹介

食べる

① 神谷バー（雷門通り）

地図内番号 店名 通り名



ピアホール、レストラン、割烹

地図 P.14 - C1

分類

地図掲載ページ

⑥ 麻鳥（公会堂横通り）



新潟県下田町より直送の100%コシヒカリを新鮮な素材と共に一釜づつ心を込めて炊き上げます。地鶏串焼も福島の伊達鶏を紀州備長炭で丁寧に焼き上げます。大切な方々のおもてなしにどうぞごゆっくり御賞味下さい。

釜めし・串焼き

地図 P.14 - B2

電 03-3844-8527
住 台東区浅草1-31-2
営 11:00~22:00(L.O 21:00)
休 無休
<http://asa-kusa.jp/asadori>



⑦ 蔵（公会堂横通り）



旬の素材を使ったお勧めの炭火焼会席コース、牛肉は和牛の特選焼物コース、アラカルトでは三陸産の鮑や伊勢海老などございます。季節によって変わる焼魚も絶品です。焼物は全て炭火焼きで召し上がって頂きます。

炭火焼会席

地図 P.14 - B2

電 03-3847-1129
住 台東区浅草1-30-10
営 11:30~23:00(L.O 21:00)
休 無休
<http://asa-kusa.jp/kura>



⑧ 一丁目（雷門柳小路）



新しい味の発見です!お好焼きをわさび醤油・ポン酢・抹茶塩などでお召し上がり下さい。もちろんソースも自家製ですから食べ比べてみては?当店の材料は全て純国産です。

お好み焼き

地図 P.14 - A1

電 03-3845-7566
住 台東区浅草1-21-2
営 12:00~15:00/17:00~22:00
金17:00~22:00
土日祝12:00~21:00
休 月曜日ただし祭日の場合は火曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/icchome.html>



⑨ 魚菜（雷門柳小路）



魚菜ではテレビでも紹介された三陸産のアワビの肝ソース焼きが大人気です。一品およびコース料理もございます。大小のご予約を承っております。今話題の焼酎、黒糖・芋・麦・米を取り揃えております。

和洋居酒屋風レストラン

地図 P.14 - A1

電 03-3842-1919
住 台東区浅草1-17-9
営 平日17:00~23:30
日祝日12:00~22:30
休 無休
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/uosai.html>



⑩ 萩丸進（雷門通り）



「旬の肴に天麩羅でちょいと一杯」季節料理に天丼・天麩羅、お椅子席・お座敷席・個室席。好みのスタイルでおくつろぎください。浅草に行きつけの天麩羅屋はいかがですか。

天麩羅、季節料理、寿司

地図 P.14 - A1

電 03-3841-0110
住 台東区浅草1-4-4
営 11:00~21:00(L.O 20:00)
休 第2・4月曜日
(祝日の場合は翌日)
<http://www.aoi-marushin.co.jp/>



⑪ 三角（浅草中央通り）



明治35年(1902)の創業以来、日本料理店として気取らず下町の味を守りたいたと努力しております。ふぐさし、ふぐちら、煮凍り、唐揚、ひれ酒、白子、特に11月頃からの白子焼、白子刺身は大人気の逸品です。是非一度ご賞味下さい。

ふぐ

地図 P.14 - A1

電 03-3841-7650
住 台東区浅草1-20-7
営 13:00~22:00(L.O 21:00)
休 水曜日、正月、
お盆は不定休あり
<http://www.asakusa-fugu.com/sankaku.htm>



会員店紹介

12 鉢の木 (公会堂東通り)

浅草寺に詣で、心躍る浅草の賑わいを巡る。熱気に煽られしばしの休息。あんみつ、おしるこ、いそべ巻き…。甘味を口にホッとひと息。夏のかき氷も人気です。くつろぎの和の空間にお立ち寄りください。

甘味・喫茶 地図 P.14 - C2

電 03-3843-6755
住 台東区浅草1-34-7
営 11:30~18:00
休 水曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/hachinoki.html>

**18 すし処 清司 (浅草観音裏)**

すしは日本の食文化。にぎる人の心がお客様に通ってこそ本物だと思います。特に江戸前的小肌、蛤、鯛は逸品です。鮓はもちろん本まぐろです。一味も二味も違うお寿司を是非ご賞味くださいませ。

寿司 地図 P.15

電 03-3872-7275
住 台東区浅草3-22-12
営 月~土17:00~25:00
祝日18:00~24:00
休 日曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/seiji.html>

**19 常寿司 (たぬき通り)**

屋台の鮨屋が提供していた昔懐かしい鮨。その味を、今も変わらず作り続けています。肩肘を張らずに、気軽に江戸前寿司を楽しめたい方、お奨め致します。是非お越し下さい。

寿司 地図 P.16 - C1

電 03-3844-9955
住 台東区浅草1-15-7
営 11:30~21:00 休憩なし
休 月曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tsunezushi>

**20 中清 (オレンジ通り)**

数寄屋造りの離れ座敷で昔から変らぬ味の江戸前天麩羅をごゆっくりご賞味下さいませ。

天ぷら会席 地図 P.16 - C2

電 03-3841-4015
住 台東区浅草1-39-13
営 平日11:30~14:00, 17:00~
22:00 土日祝11:30~20:00
休 火曜日、第2、第4水曜日
<http://www.nakasei.biz/>

**21 Bistro Kinukawa**

新鮮な魚料理と契約農家直送の有機野菜をお楽しみいただけるフレンチのお店です。ワインはもちろん、焼酎や日本酒もございます。下町ならではの居心地の良い空間で、素材にこだわった「おさかなフレンチ」をご堪能下さい。

フランス料理 地図 P.16 - B1

電 03-5828-3313
住 台東区西浅草2-16-4
営 平日12:00~15:00、
17:00~22:00
休 火曜日

**22 TAKEYA (浅草ひさご通り)**

昔からひさご通りは六区興行街から千束吉原に向かう人で賑わう商店街でした。当店はお子様からお年寄りまで、気楽に入れて来て良かったと思われるお店を、従業員一同心がけております。大小予約承ります。

居酒屋 地図 P.16 - B3

電 03-3841-6555
住 台東区浅草2-25-5
営 平日12:00~23:00
土日12:30~14:00、
17:00~23:00
休 月曜日 <http://www.asakusa.gr.jp/shop/takeya>

**23 浅草今半 (国際通り)**

厳選された黒毛和牛と秘伝の割り下で、焼くように煮るすき焼きが浅草今半流。ランチタイムサービスの「明治すき焼丼」と「ステーキ丼」は、浅草の隠れ銘丼とも…。納得の味をお届けいたします。

すき焼、しゃぶしゃぶ、日本料理 地図 P.16 - B2

電 03-3841-1114
住 台東区西浅草3-1-12
営 11:30~21:30
休 年中無休
<http://www.asakusaimahan.co.jp/>

**13 尾張屋**

幕末の創業以来、地元浅草の方々、観音様参詣の皆さんに広く愛されてきた老舗です。そばは、信州を中心に厳選した国産の一番粉、本かつお節のつゆ、胡麻油で揚げた天ぷらと、三位一体の美味しさです。

日本そば 地図 P.14 - C1, P.16 - C1

電 03-3845-4500(本店)
03-3841-8780(支店)
住 台東区浅草1-7-1(本店)
台東区浅草1-1-3(支店)
営 11:30~20:30 休 金曜日(本店)、水曜日(支店)
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/owariya>

14 弁天山 美家古寿司

創業慶応2年(1866年)。酢飯、仕事を施した寿司ダメ、新鮮な山葵と煮き醤油、この4つのバランスによって寿司の美味しさを最大限に引き出す。江戸前寿司の本来の仕事、にぎり、ツメ、ヅケ、酢〆、昆布〆など、古典的技法を今なお頑に守り続けております。

寿司屋 地図 P.14 - C3

電 03-3844-0034
住 台東区浅草2-1-16
営 月~土11:30~14:30(L0 14:00),
17:00~21:00(L0 20:00)
祝日 11:30~18:30(L0 18:00)
休 月、第3日曜日 <http://bentenyama-miyakosushi.com>

**15 和風れすとらん若 (浅草猿若町会事務所側)**

江戸の名残の和風作りのお店で、洋食と色々なお酒をお楽しみください。特製ヒレカツサンドと、のりカツロールはお子様からお年寄りまで喜んで頂けるお土産に大人気です。(不定休の為、必ずお電話で御予約下さい。)

洋食レストラン 地図 P.15

電 03-3876-2500
住 台東区浅草6-20-2
営 17:00~ *要予約
休 不定期
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/waka.html>

**16 にいど・だもおれ (浅草猿若町市村座跡)**

昔の市村座の跡にあるお店です。夜は新鮮な魚介類のお料理で(活タラバガニ等)、お仲間だけの空間をお楽しみ下さい。

レストラン 地図 P.15

電 03-3874-7561
住 台東区浅草6-18-13
小竹猿若町レジデンス1階
営 ランチ11:00~14:00、ディナー
1日1組予約のみ17:00~22:00
休 日祝、第2・3土曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/nidodamore.html>

**17 都鳥 (浅草観音裏)**

江戸開府四百年、だからこそ江戸の昔を体験してみませんか。花柳界の楽しさをもっと知って頂きたいと、江戸の遊びのコースを考えました。お客様には和服でお越し頂くなど、一緒に御趣向を楽しめませんか。

料亭 地図 P.15

電 03-3874-2175
住 台東区浅草3-23-10
営 18:00~ 要予約
休 土日祝日
<http://asakusa-miyakodori.com>



24 どぜう飯田屋 (合羽橋本通り)

磨き込まれた簾敷きに
胡坐をかいて
どぜう鍋
一刻文豪気分です

どぜう料理

地図 P.16 - B2

電 03-3843-0881
住 台東区西浅草3-3-2
営 11:30~21:30(L.O 21:00)
休 水曜日、祝物日は前後
振替
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/iidaya.html>

**25 月見草 (浅草並木通り)**

魚介類を中心とした旬の食材を取り入れたシーフードレストラン。一番の人気を誇るのは鮑のステーキ、水槽の中で生きているものをすぐに調理し丸ごと一つを鮑の肝で作った自慢のオリジナルソースをかけてどうぞ。

シーフードレストラン

地図 P.17 - C2

電 03-3841-8949
住 台東区雷門2-11-8
営 12:00~15:00
17:00~22:00(L.O 21:00)
休 無休
<http://asa-kusa.jp/tsukimiso>

**26 マノス**

「ロール・キャベツ?いや!キャベツ・ロールです」。創業以来、作り続けて35年。元祖キャベツ・ロールといえば浅草マノス。料理は良い素材と美味しいものを作るという気持ち!今一度、お召しあれ〜!

ロシア風レストラン

地図 P.17 - B2

電 03-3843-8286
住 台東区雷門2-17-4
営 11:30~22:30(L.O 21:00)
ただし平日15:00~16:30準備中
休 火曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/manos>

**27 初小川 (雷門仲通り)**

明治40年の創業以来継ぎ足し使っている辛口のタレを使った鰻は、注文を受けてからさばき、蒸してから焼く。江戸前風七輪の炭で焼いた鰻はムダな脂が落ち、身もふくらやわらかで上品な味わいです。

鰻蒲焼き

地図 P.17 - B2

電 03-3844-2723
住 台東区雷門2-8-4
営 平日12:00~14:00, 17:00~
20:00 日祝17:00~20:00
休 不定期
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/hatsuogawa.html>

**28 茶寮 一松 (万太郎横町)**

ご宴会に、季節の色で盛り付けされた茶寮一松での会席料理はいかがでしょうか。お昼のミニ会席や料亭ウエディングプランなどもご用意しております。しばし浮世を離れ、浅草ならではの粋なひと時をお楽しみ下さい。

会席料理

地図 P.17 - B2

電 03-3841-0333
住 台東区雷門1-15-1
営 11:00~22:30
休 月曜日・お盆・12月は
不定休・年末年始
<http://www.ichimatsu.co.jp>

**29 三代目魚熊**

魚屋から始まり、皆様に支えられて創業77年。1日も欠かさず築地で魚を手に取り仕入れしています。魚のことでは妥協致しません。お客様の「旨い」の一言のため、感謝を込めて笑顔あふれる店作りに励みます。

ふぐ・魚料理

地図 P.17 - B1

電 03-3851-5914
住 台東区蔵前3-20-5
営 17:00~22:30
休 日曜・祭日
<http://uokuma.com>

**30 和泉屋本店 (観音通り)**

良質の食材(もち米・うるち米・醤油・天然塩等)を使った、あられ、手焼きせんべい、おかきを製造しています。缶・和紙箱・竹籠の御進物セットが人気です。

あられ、手焼きせんべい、おかき

地図 P.14 - C1

電 03-3841-5501
住 台東区浅草1-1-4
営 10:30~19:30
休 木曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html>**31 和泉屋観音通り店 (観音通り)**

このところ、堅焼の人気が復活しています。天日干しの「厚焼せんべい」。もち米の「風神雷神」。堅焼の定番げんこつ等、リピーターのお客様が増えています。

あられ、手焼きせんべい、おかき

地図 P.14 - C1

電 03-3841-8385
住 台東区浅草1-1-6
営 10:30~19:30
休 木曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html>**32 浅草きびだんご あづま (仲見世通り)**

江戸時代、観音様の参道・仲見世で繁昌した門前のきびだんごを再現しております。粋なにいさんと下町娘たちのきびだんご作りの実演もご覧下さい。夏の冷し抹茶や冬の甘酒も大評判です。

きびだんご

地図 P.14 - B1

電 03-3843-0190
住 台東区浅草1-18-1
営 9:00~19:00
休 無休

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kibidango.html>**33 熊野屋 (観音通り)**

ちょっと昔、よく食べたあの口が曲がるくらい塩辛い紅サケの切身、お茶漬け、お酒にぴったりの塩干ダラ、本場新島の本乾クサヤの干物等々が下町浅草でお求めいただけます。本場大分産の肉厚シタケも好評です。

諸国名産珍味

地図 P.14 - C1

電 03-3841-8089
住 台東区浅草1-19-10
営 10:00~18:00
休 木曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kumanoya.html>**34 おもちゃのサワダ (新仲見世通り)**

昔ながらのオモチャヤです。ビー玉・面子・ベーゴマから、今話題のオモチャまで、品数豊富に取り揃えております。お値段もお勉強させて頂いております。皆様のは是非の御来店をお待ちしております。

玩具一般

地図 P.14 - C2

電 03-3842-7367
住 台東区浅草1-33-3
営 9:30~19:00
休 水曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/omocha.html>**35 東京モード (新仲見世通り)**

婦人服・子供服から舞台衣装・ダンスウェアまで、最新デザインの商品をサイズ豊富に取り揃えております。お値段はサイフに優しい下町価格。普段のオシャレに、ダンスやカラオケの発表会に、ぜひご利用下さい!

ダンス・舞台衣装

地図 P.14 - B2

電 03-3841-3915
住 台東区浅草1-32-2
営 10:00~18:30
休 無休

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tokyomode.html>

36 桐生堂（浅草メトロ通り）

当店は、商品も手作りですが内装も手作りで、木材を切ったりニスを塗つたり、気ままに楽しんでいます。竹を買って店の外側に取り付けました。下に風呂敷を置いて、なかなか良く出来たと思っています。

組紐、和雑貨

地図 P.14 - B2

電 03-3847-2680
住 台東区浅草1-32-12
営 10:30～19:00
休 無休
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kiryudo.html>

**37 和泉屋仲見世店（仲見世通り）**

約100種類のあられ、手焼せんべい、おかきを販売しています。江戸情緒あふれるパッケージ(江戸童(わらべ)絵・日本人形・雷門)の手土産が人気です。

あられ、手焼せんべい、おかき

地図 P.14 - B2

電 03-3844-2687
住 台東区浅草1-37-1
営 10:30～19:30
休 木曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html>

**38 ふじ屋（弁天山側）**

四季の草花、歌舞伎、歳時記などのオリジナル染絵てぬぐいを額装したインテリアや、江戸時代より「そめぎれ染布」として暮らしの中で使われてきた江戸小紋などで、てぬぐいを生かした粋な暮らしをお楽しみ下さい。

てぬぐい

地図 P.14 - B3

電 03-3841-2283
住 台東区浅草2-2-15
営 10:00～18:00
休 木曜日
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/fujiya.html>

**39 浅草九重（仲見世通り）**

「浅草寺から三軒目」浅草九重はあげまんじゅうの実演販売のお店です。国産大豆を原材料とし、最高級のごま油を使用しています。日持ちのするお土産用のラインナップも充実し、国内はもちろんのこと、海外のお客様にも人気です。

あげまんじゅう

地図 P.14 - B3

電 03-3841-9386
住 台東区浅草2-3-1
営 9:30～19:00頃
休 無休
<https://ageomanju.jp>

**40 常盤堂雷おこし本舗（雷門通り）**

今も変わらぬ下町ならではの粋や人情にふれあう事の出来る浅草において、下町の心・伝統の味を守り続ける常盤堂。江戸銘菓「雷おこし」家を「おこし」名を「起こす」という縁起の良さから長い間、浅草のお土産として親しまれております。

雷おこしを主とする菓子

地図 P.14 - B1

電 03-3841-5656
住 台東区浅草1-3-2
営 9:00～21:00
休 無休
<http://www.tokiwado.tokyo>

**41 かね惣（雷門柳小路）**

プロ仕様から家庭用まで各種取り揃えております。創業(明治6年)以来、伝承してきた古式鍛錬秘法の切れ味を一度お試し下さい。また、ご婚礼祝い、仏事のお返しなどにもご利用ください。

刃物

地図 P.14 - B1

電 03-3844-1379
住 台東区浅草1-18-12
営 11:00～19:00
休 不定休
<http://www.kanesoh.com>

**42 文扇堂雷門店（雷門柳小路）**

専門店として当代で四代。各流派の舞踊家、歌舞伎の役者さん、芸者さんや落語家さんなど多種多彩な方にお越し頂いています。普通の扇や木版刷りの祝儀袋、うちわもあるお店です。気楽にお立ち寄りください。

舞扇、うちわ等

地図 P.14 - B1

電 03-3841-0088
住 台東区浅草1-20-2
営 10:30～18:00
休 毎月20日過ぎの月曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/bunsendo.html>**43 文扇堂仲見世店（仲見世通り）**

雷門店同様に、古典芸能のプロの方をはじめ多くのお客様に御愛顧頂いております。普通の扇や木版刷りの祝儀袋、うちわなども御用意しておりますので気楽にお立ち寄りください。

舞扇、うちわ等

地図 P.14 - B2

電 03-3844-9711
住 台東区浅草1-30-1
営 10:30～18:00
休 毎月20日過ぎの月曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/bunsendo.html>**44 ミドリ屋（公会堂横通り）**

舞踊衣装のことなら当店にお任せ下さい。豊富な品揃えと驚きの低価格で、きっとご希望の品が見つかります。その他、お稽古着・反物も多数取り揃えておりますので、是非一度お立ち寄り下さい。

舞踊衣装

地図 P.14 - B2

電 03-3843-1441
住 台東区浅草1-30-11
営 10:30～18:00
休 每月第2・4火曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/midoriya.html>**45 木村家本店**

人形焼の木村家本店です。仲見世通り奥の浅草寺様に一番近い角で営業しております。当店の人形焼の形は五重塔、雷様、提灯、鳩の4種で浅草を表現しております。どうぞ昔から変わらない木村家本店の人形焼をご賞味ください。

人形焼

地図 P.14 - A2

電 03-3841-7055
住 台東区浅草2-3-1
営 9:00～19:00頃
休 不定期

**46 よのや櫛舗（伝法院通り）**

伝法院通りにあり浅草寺、六区方面から大変に便利です。小店舗ですがつけ櫛の種類も豊富で、また櫛やかんざしの使い方も丁寧にアドバイスさせて頂いております。是非一度御来店下さい。

黄楊櫛、黄楊製品

地図 P.14 - A2

電 03-3844-1755
住 台東区浅草1-37-10
営 10:30～18:00
休 水曜日

**47 よ兵衛（仲見世通り裏）**

サクッと軽くお味はしっかり。昔懐かしい母の味「揚餅」を食べていただけます。無駄なものは一切加えず、素朴で香ばしい味を再現しています。お味は生醤油やしお、カレー、生醤油唐辛子など6種類。是非ご賞味あれ!

揚餅・お団子

地図 P.14 - B3

電 03-3841-0868
住 台東区浅草2-2-7
営 9:00～18:00
休 不定期

<http://www.agemochi-yohei.com/>

48 浅草辻屋本店 (伝法院通り)

浅草花柳界をはじめ、和装にうるさいお客様に愛され育てられて百年目。長く履いても痛くならず疲れない、熟達した職人の技が生きる鼻緒のすげ。「浅草好み」の履物を豊富な品数で取り揃えております。

和装履物

地図 P.14 - B2

電 03-3844-1321
住 台東区浅草1-36-8
営 10:00~19:00
休 無休

<http://www.getaya.jp/>**49 浅草の保健室ネオ (馬道通り)**

浅草で創業63年のくすり屋です。一般薬・健康食品・ヒノキ肌粧品など取扱っております。なんでもお気軽にご相談くださいませ。

クスリ

地図 P.14 - C3

電 03-3841-5329
住 台東区浅草2-1-15
営 9:30~19:00
土 9:30~18:00
休 日曜日

<http://www.neo-ph.com>**50 江戸金銀工芸もり銀 (オレンジ通り)**

日本の金銀工芸は西暦600年代より始まり、江戸時代に入って花開きました。現在もその時代からの手法を引き継いで、銀の食器類・アクセサリーetcを自家製作販売しております。日本の伝統文化を表す品々と自負しております。

銀製品全般

地図 P.14 - A2

電 03-3844-8821
住 台東区浅草1-29-6
営 10:30~18:30
休 無休

<http://www.asakusamorigin.com>**51 宮本卯之助商店本店 (吉野通り)**

文久元年(1861年)創業、伝統的な製法を頑なに守り続け、その華麗さ、堅牢さには定評があります。また、邦楽教室を行なう「宮本スタジオ」や世界の太鼓資料館「太鼓館」など、様々な活動にも取り組んでいます。

太鼓・神輿、祭礼用具

地図 P.15

電 03-3873-4155
住 台東区浅草6-1-15
営 9:00~17:00
休 土日祝日

<http://www.miayamoto-unosuke.co.jp>**52 株式会社製菓川喜多**

弊社は戦後もなく川喜多忠之助により、おこし製造から始まりました。駅、高速SA等でおなじみの「東京サンド」等の間屋様への卸売り販売、老舗様のOEM製造を中心としてきましたが、現在では「浅草の菓子屋」になりきる、「浅草川喜多」の名前での洋菓子の製造販売に重点を置いております。工場直販です。

菓子製造、販売

地図 P.15

電 03-3875-0013
住 台東区浅草5-56-4
営 9:00~17:00
休 日・祝日(土曜日不定休)

<http://www.s-kawakita.co.jp>**53 デイジー (新仲見世通り)**

魅力的な貴女をより輝かせるバックと小物。デイジーはそんな貴女にピッタリ!カラフルな品揃えで心までウキウキ間違いナシです。オリジナル品を中心としたオサイフや札入も個性的な貴女にピッタリ特注・別注・修理も大歓迎です。

バッグ、小物

地図 P.16 - C1

電 03-3847-8118(FAX共通)
住 台東区浅草1-22-10
営 10:00~19:30
休 不定期 2ヶ月に1回ほど

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/deiji.html>**54 渡辺眼鏡商店 (たぬき通り)**

創業明治20年の眼鏡専門店です。オリジナルフレーム、アンティークフレーム、眼鏡ケース、眼鏡チェーンなど他所には無いものをお探しの方はちょっと覗いてみて下さい。眼鏡修理も承っております。

めがね

地図 P.16 - C1

電 03-3841-7466
住 台東区浅草1-16-7
営 09:30~19:00
休 火曜日(祝日の場合は営業)

<http://www.watanabemegane.com>**55 すずや (西参道商店街)**

時代劇や踊りに興味のある方、いろいろな小道具が並んでいます。近くにお出かけの時にはお気軽に立ち寄り下さい。

演劇、舞踊小道具

地図 P.16 - C2

電 03-3844-3798
住 台東区浅草2-7-13
営 10:00~18:00
休 火曜日

<http://www.asakusasuzuya.co.jp>**56 めうがや (言問通り)**

“めうがや”と書いて「みょうがや」。旧仮名で“どぜう”を「どじょう」と読むのと同じです。夏に麻足袋、柄足袋も多种揃っています。お祭には、オリジナルの祭用品で粋にキメて下さい。

足袋、祭用品

地図 P.16 - C3

電 03-3841-6440
住 台東区浅草2-27-12
営 10:00~19:00
休 水曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/myogaya>**57 宮本卯之助商店西浅草店 (国際通り)**

文久元年(1861年)創業、伝統的な製法を頑なに守り続け、その華麗さ、堅牢さには定評があります。また、邦楽教室を行なう「宮本スタジオ」や世界の太鼓資料館「太鼓館」など、様々な活動にも取り組んでいます。

太鼓・神輿、祭礼用具

地図 P.16 - B1

電 03-3844-2141
住 台東区西浅草2-1-1
営 9:00~18:00
休 年中無休

<http://www.miayamoto-unosuke.co.jp>**58 ヤマダの家具 (合羽橋通り)**

飲食店のイス・テーブルの製造販売と内装工事を承っております。最近はイスの張替、リフォーム工事等、大変好評です。お見積りはもちろん無料ですので、大小にかかわらずどうぞご相談ください。

家具・内装工事・リフォーム

地図 P.16 - A2

電 03-3843-6656
住 台東区松が谷3-2-12
営 9:00~17:30
休 日曜・祝日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/yamada>**59 今昔きもの 龍巳(胡蝶) (オレンジ通り・伝法院通り角)**

胡蝶では、大正・昭和のアンティーク着物から、最近のリサイクル着物・帯などを格安にて販売しております。また、本店・龍巳にて、日本舞踊の貸衣装・かつらのレンタルも承ります。

着物

地図 P.16 - C2

電 03-3843-7606
住 台東区浅草1-39-11
営 10:30~19:00
休 無休

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kocho>

60 まつもと履物店 (浅草ひさご通り)

自店で仕上げた草履、下駄、雪駄等を商う和装履物専門店。1899(明治32)年、浅草千束町二丁目に創業。代々継承される職人技術と徹底した品質管理を経た、(株)まつもと履物店の和装履物をぜひ一度、お試しください。

和装履物専門店

地図 P.16 - B3

電 03-3841-2461

住 台東区浅草2-22-11

営 11:00~18:30

休 火曜日

<http://www.wasou-hakimono.com/>**66 村石電気工事 (仲見世会館そば)**

右の写真は当社が電気工事をした、汐留シティーセンタービル41階のFISHBANK(フランス料理店)です。このような工事を手がけ、また特殊ランプ等も販売しています。是非一度お立ち寄り下さい。

電気工事業

地図 P.14 - B2

電 03-3845-2345

住 台東区浅草1-32-9

営 08:00~17:00

休 日曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/muraishi.html>**61 龍昇亭西むら (雷門通り)**

看板の栗むし羊かんはもちろん、大桃山金龍、東京かすていら、昇り鮎など浅草の催事と、季節に因んだ品々は大人気です。創業は江戸中期と古く、安藤広重の「雷門前図」にもお店が描かれています。

和菓子司

地図 P.17 - C2

電 03-3841-0665

住 台東区雷門2-18-11

営 09:00~20:00

休 不定休

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/nishimura.html>**67 浅草ビューホテル**

江戸情緒を色濃く残す「浅草」。東京の新たなシンボル「東京スカイツリー」を目の前に、ますます活気に満ち溢れる「浅草」で気取らぬあたたかいおもてなしで国内外のお客様をお迎えいたします。

ホテル業

地図 P.16 - B2

電 03-3847-1111(代表)

住 台東区西浅草3-17-1

営 チェックイン15:00

チェックアウト12:00

*予約の宿泊プランにより異なる場合があります。

<https://www.viewhotels.co.jp/asakusa/>**62 市川とうふ店 (万太郎横町)**

浅草の老舗飲食店への卸を中心に、国産大豆にこだわり手作り豆腐一筋三代にわたるお店です。店頭での販売ではとくに“おぼろ豆腐”が人気です。水にまったくさらさない、大豆風味豊かな味を一度御賞味下さい。

豆腐

地図 P.17 - B2

電 03-3841-1357

住 台東区雷門1-14-3

営 5:00~19:00
13:00~16:00は休憩

休 水曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tofu.html>**63 宗舟 (浅草消防署前右入る)**

初代より百年以上にわたり社寺、仏像、置物などの木彫刻を専門に手掛けてきました。一階はギャラリーで、大黒様や聖観音菩薩など仏彫刻、根付け、小盆なども展示しております。お気軽にお立ち寄り下さい。

木彫刻

地図 P.17 - B2

電 03-3845-0458

住 台東区寿4-12-2

営 10:00~17:00

休 日曜日・祝日

<http://so-syu.jp>**64 宝研堂 (江戸通り駒形どぜう裏)**

ご愛用の硯を研ぎ直し目立てをします。面を整地し直し厳選された砥石をかけ、仕上げに丸一日かけます。これを行うのと行わないのとでは、使用感、見た目にも驚くほどの違いが出ます。是非一度お試し下さい。

書道用品専門店

地図 P.17 - B2

電 03-3844-2976

住 台東区寿4-1-11

営 平日9:00~18:00
第1・3日曜10:00~17:00

休 第2・4・5日曜・祝日

<http://houkendo.co.jp>**65 グリーンジャケット**

梅雨時のゴルフの必需品!夏場や雨のゴルフでグリップが滑りませんか?ゴリラゴールドが滑りを全て解決します。(全国販売店募集中)他所で見られないゴルフグッズをいろいろ揃えています。

こだわりのゴルフ用品

地図 P.17 - B1

電 03-3847-0871

住 台東区浅草3-12-5
ロワール浅草寿201号

営 10:00~18:00

休 日曜日・祝日

<http://www.green-jacket.co.jp/>

御神木「槐」の木の由来(ごしんぼく「えんじゅ」)

槐は中国原産の豆科の落葉高木で、高さは10mにもなります。初夏黄白色の蝶形の花を付け、中国では記念樹として植えられますが、日本では街路樹などにも多く植えられています。浅草寺境内の槐の木は、枯れては生えているので絶えることがないそうです。浅草寺のご本尊の聖観音菩薩は推古天皇の頃、漁師であった檜前浜成・竹成兄弟により網得されて川辺の槐の木の切り株に安置されました。土師仲知が自宅内に堂を設けて観音様をお祭りしたのが浅草寺の起りだと伝えられています。また、仲知達の子孫が3人を神様としてお祭りしたのが三社権現社です。



槐の会からのお知らせ

浅草槐の会(あさくさえんじゅのかい)は、浅草寺のご本尊の聖観世音菩薩が、推古天皇36年(628年)3月18日、隅田川で示現され、槐の木の切り株(現在の駒形堂あたり)に安置されたといわれから“浅草槐の会”と称しました。浅草槐の会では、楽しい浅草情報を、ホームページ、瓦版、などで紹介いたしております。また、四季折々の浅草を自由に、楽しく散策していただきたく、地図、歳時、名所、旧跡を中心に編さんした『日本の扉浅草』を刊行いたしております。この冊子が、皆様の浅草散策のお役に立てば幸いです。



えんじゅ
浅草槐の会事務局

※この冊子は、槐の会会員店舗にて
無料配付しております。

浅草文化観光センター



台東区浅草文化観光センターは、浅草寺を中心とする浅草の文化的遺産の保護・再発見に努めるとともに、広く全国に紹介するための施設。浅草の持つ特有の庶民文化や行事等の故事来歴などを紹介している。2012年4月20日(金)にリニューアルオープンしました。

開館時間午前9:00～午後8:00(年中無休)

台東区観光ボランティアガイド

台東区では、観光に来られた方の案内役として「観光ボランティアガイド」制度を設けています。利用できる人数は、2~3名の小グループから団体まで幅広く、「浅草寺を中心とした思わぬ発見コース」など、さまざまご相談に応じてコースを設定してご案内しています。台東区観光ボランティアガイドに関する詳しいお問い合わせ、お申し込みは次のところまで。

台東区観光ボランティアガイド事務局

- TEL:03-3842-5599 FAX:03-6673-3046
- ホームページ <http://www.taitouboragai.com>

